



松山東雲学園同窓会報 No.79

発行 松山東雲学園同窓会
〒790-8541 松山市大街道3丁目2-24
Tel 089-941-4140 Fax 089-948-4147
E-mail : yukibira@shinonome.ac.jp
郵便振替 01660-1-93707
発行日 2021年9月1日
印刷 セキ株式会社
〒790-8686 松山市湊町7丁目7-1



桑原キャンパス [本館前]



大街道キャンパス



桑原キャンパス [通称 紫苑坂]

懐かしい坂道

会 長 挨 拶



松山東雲学園
同窓会
会長 菅田 栄子

松山東雲学園同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。いつも同窓会の活動のためにご支援ご協力をいただきありがとうございます。

2020年の同窓会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため計画しておりました多くの活動を残念ながら中止にいたしました。そうした状況の中にあって2021年1月12日、松山東雲女子大学・短期大学での「雪びら奨学金授与式」や3月1日の松山東雲高等学校の卒業式に招かれ、同窓会の皆様を代表してお祝いの言葉を届けることができ幸いなことでした。卒業式では、卒業生の言葉、見送る教職員、見守る保護者の方々から喜びが伝わってきて、嬉しくなりました。

役員会は11回開催。12月の役員会は3密を避け、桑原キャンパスで行い、小西靖洋理事長・水島祥子宗教主事とともにクリスマス礼拝を捧げました。小西理事長からコロナウイルス感染症対策を徹底して、対面授業と遠隔授業を組み合わせで取り組んでおられること、幼稚園の子どもたちが芋掘りをする芋畑を耕作されたこと等、学園の様子もお聞きすることができ、新役員にとってよい交わりの機会となりました。また数回、月曜・水曜手芸

の方々によって、ていねいに作られた品物をお預かりし、小さなお店を開店しました。買い手も役員ですが、楽しみのひとつとなりました。

2021年6月の総会も感染拡大防止のため書面議決とさせていただきます。まだまだ集まることは困難な状況が続いています。会いたい人に会えない制限の多い今日ですが、安心して出会えるその日のために働いてくださっている方々に感謝しつつ、希望を失わず待ちたいと思います。

第79号「雪びら」では、新型コロナウイルスに向き合いながら、それぞれの場で取り組んでおられる同窓生や学園の取り組みをお届けいたします。

9月16日は、松山東雲学園創立記念日です。135年前、二宮邦次郎校長によって、四国ではじめての女学校が創立されました。その精神は、ともに礼拝をし、生活を通して生徒さんたちに伝わっていったのではないかと、様々なことを思い巡らします。学園では毎年、記念礼拝が行われます。私たちも声をかけ合って、それぞれの場で祈っていきましょう。

変化していく社会の中で、これからも「母校と会員の関係を密にして会員相互の親睦を深め、母校の発展に寄与することを目的とする」同窓会の在り方を探りつつ歩んでいきたいと思ひます。皆様からのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

目 次

会長挨拶……………	1	インフォメーション……………	4	同窓会事業案内……………	8
同窓生はいま……………	2	松山東雲の歴史のひとこま……………	6	掲示板……………	8
支部だより……………	2	同窓会事業報告・決算報告書……………	7		

同 窓 生 は い ま



高橋 恵子

(高校17回・短大保育1回生)

私は松山東雲中学、高校、短大と通い卒業してから半世紀を過ぎた今も、週1回昔と変わらない校門をくぐり、坂を上っています。

中学1年の時「華道クラブ」に入りその道を極めたく、お家元岡田聴春先生のお宅に週1回通うようになりました。聴春先生からは戦後の女子教育の大切さから東雲へお花の指導に行かれたこと、生け花だけでなく言葉遣いや他人に対する気遣い、礼儀作法、思いやり等、『道』への世界をたくさん学ばせていただきました。東雲で楽しく学んだこと、聴春先生のご指導を受けたことで私の人間形成がされた様に思っています。

短大卒業と同時に華道教室、看板、お名前を頂戴し、就職結婚を経て、お家元の助手として松山東雲学園華道クラブのお手伝いをしておりました。時代の流れと共にクラブ活動も変遷し、今は中学校の総合的な学習として、

1年生は「茶道」、2年生は「華道」、3年生は「琴」が必須科目になり、週1回、多感なこの時期の心を落ち着かせる大切な時間になっているようです。

「花は苦手」「生け花なんて出来ない」と最初言っていた生徒さんが、「ほめてくれた」「お花の名前をたくさん覚えられた」「花が好きになった」と言って喜び、目を輝かせるようになり、廊下を歩いていると「先生、お花の授業またしたい」「楽しかった」と声をかけてくれます。放課後の玄関ロビーで余った花や前週の花を集めてトイレのお花を差し替えている時など、「お手伝いさせてください」と一輪挿しに花をいれたり、お喋りをしたり、楽しいひと時を過ごさせて貰っております。

これからもいろいろなことがある将来、立ち止まりほっと一息ついて、四季の移ろいを感じられる情緒豊かな生き方になりますよう、微力ながら「華道」でお手伝いできればとの思いで、週1回校門をくぐり、坂を上っております。



石原美良子

(高校19回・短大英文3回生)

お城下の緑豊かな学園正門からの上り坂を通った学生時代を、今も懐かしく思い出しています。

「働く」経験もほとんどなく子育てに専念していた27歳の時、父の死を機に「私はどんな人生を送りたいのか？」と自分自身と向き合い「働く」選択をしました。

化粧品販売業としてスタートしましたが、外見だけではなく肌が触れ合うコミュニケーションで癒し、内面から美しくすることを目的として、1989年にエステティックやアロマセラピーを施術する総合美容サロン株式会社ヴァンサンカンを設立、「心と体とお肌のケア」をテーマに、お客様の生活の質の向上を目的とする「あなたに寄り添うヴァンサンカン」としてトータルライフケアサロンを目指しています。

アロマセラピー、メディカルハーブなどの活用方法を伝え、自立を目指す方々の独立を支援する自然療法スクールの運営、体を守るオーガニックコットン商品のショップも運営しています。働くスタッフは全員女性です。以前は、結婚・出産等でフルタイムの仕事を続けられないという空気があったのか離職するスタッフもたくさんいました。「スタッフが幸せでいられることは、お

客様に喜んでいただける以上に私の幸せ」だという私自身の気づきから、子育てをしながら働き続けることができる「働き方の改革」に、2015年から取り組みました。雇用形態の見直しから始め、子育て・介護等さまざまな相談にのり、家庭と仕事の両立を可能にしたことで離職率も低減し、産休からの復帰率は今では100%です。営業時間の短縮等は会社にとって厳しい面もありますが、「限られた時間で最善を尽くし成果を出す」という状況が自己成長になり、お客様のさらなる感動満足に繋がっていると感じています。

この「働き方改革」の取り組みが、2019年の四国地域イノベーション創出協議会主催の「四国でいちばん大切にしたい会社大賞」を受賞。2020年には民間放送教育協会制作「日本のチカラ」に取り上げられてTV朝日系列で全国放送されると、たくさんのうれしいコメントをいただきました。

松山東雲学園で学んだ校訓のひとつ「私心なき奉仕」、当時はその意味をよく理解できていませんでした。今経営者としてスタッフの人生やお客様の人生に向き合う中「みんなにとって幸せなこと」を探し続けることが私の使命であり私の幸せだと思い、「私心なき奉仕」の言葉の意味をあらためてかみしめております。

これからも目の前のお一人のために最善を尽くし「誰かの何かのお役に立てるよう」精進して参ります。

支 部 だ よ り

❀ 東京支部

支部長 武田真弓美 (短大食物14回生)

新型コロナウイルス感染症拡大の為、2年続けての同窓会中止となりました。来年こそは、皆様にお目にかかりたいと心より思っております。

東京支部という名称ですが、関東地方の同窓生で構成された支部です。雪びらをご覧の方で、関東地方にお住まいの同窓生でお知り合いの方がおいででしたら、「松山より離れた地でも同窓会は開催されている」とお声か

けいただけませんか。東京支部の同窓会は、毎年本部より同窓会会長もご出席くださり、6月の第1週月曜日、椿山荘において開会しております。お一人で出席される方がほとんどです。連れの同窓生が居ないなどと躊躇されずにお越しください。松山弁で楽しいひと時を過ごしましょう。

連絡先：03-5819-8363・090-5345-7855
yystm-mayumi@nifty.com・yystm-mayumi@ezweb.ne.jp

❁ 関西支部

支部長 池内 啓子（高校23回・短大保育7回生）
2007年に支部長をお引き受けして、早14年目となりました。お引き受け当時は、10名足らずの参加者でしたが、幹事に選出された方が企画運営してくださり、40名近くの方にご参集いただけるようになりました。皆様のお力添えに心より感謝申し上げます。

盛り上がりつつある関西支部ではありますが、今はコロナ禍で一堂に会することは叶いません。ですがコロナ禍の切れ間の3月には先輩が毎年出品されている展覧会を觀に、感染対策の上、少人数で声を掛け合い京セラ美術館まで行ってきました。1年5ヵ月ぶりの再会を喜び、マスクの下で会話が花が咲きました。関西支部では色々な方面でご活躍されている方々がおられます。

是非皆様の活動情報をお寄せください。皆で応援し繋がりを絆に変えていければと考えております。大変な時代ですが、東雲の空に昇りくる太陽を信じ友を信じ、皆でこの災禍を乗り越えられることを祈っております。

連絡先：080-9167-7177



❁ 高知支部

支部長 濱田 里香（短大生活5回生）
こんにちは、高知支部の濱田里香です。「久礼大正市場」で有名な中土佐町に住んでいます。久礼の鰹のたたきは美味しくて、ずっと食べられなかったお刺身が食べられるようになったほどです。

高知支部会は二年に一度程度の食事会を中心に開催してきましたが、近年の参加者の減少に加えてこのコロナ禍、開会は難しい状況です。

ワクチン接種の効果で近い将来みなさまで集える日が来ることを願っております。

連絡先：0889-52-4310

❁ 沖縄支部

支部長 城間 美輝（短大生活20回生）
松山東雲短大生活科学科食物栄養専攻を卒業し早13年、地元で働いています。

コロナ禍の沖縄では自粛が求められていますが観光客の姿は以前と変わらず、支部会の開会も難しい状況です。コロナ禍が早く落ち着くことを願うばかりです。

連絡先：098-884-1875

❁ 今治支部

支部長 岡田 温子（高校17回生）
同窓会の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

今治支部もコロナウイルス感染拡大により、活動も5、6ヵ月中止にしました。雪びらに投稿のため、6月に幹事10名で久しぶりに集合写真を撮りました。先輩方の努力により脈々と受け継がれて、昭和55年7月第1回支部会が発足し42年の月日がたち、気がつけば私自身も入会して、30年になります。毎月幹事10名で親睦を深めなが

ら情報交換をしております。松山東雲学園でキリスト教精神の教訓、今も変わらない5箇条の言葉を思い出し、2年に1度の同窓会支部会に向けて定例会として、実行委員会を継続しております。

コロナウイルス終息をお祈りしながら第25回令和4年8月今治支部会に向けて微力ながら、これからも努めて参ります。

支部よりご案内が届いていない方は連絡をお待ち致しております。

連絡先 0898-22-2573・090-7145-2199



❁ 松山東支部

支部長 仙波 敬子（高校22回・短大食物8回生）
仲良く楽しく

2005年4月23日結成。会員数12名。母校でのバザーに協力してくださる準会員は数名です。特別な会合をもたなくても、バザーの提供品集め、値つけ、販売などの役割はスムーズに分担され、協力体制がスタートします。それは「私心なき奉仕」の校訓による賜物です。年代は異なっても仲良く協力して楽しい時間を過ごすことができるのは幸いです。

バザー当日には多くの同窓生との懐かしい出会いもあり、私たちの店はいつもにぎやかです。売り上げは、学園の国際交流のために贈ります。私たちは、母校とのつながりを共に喜びあえるのはうれしいことです。

時折卒業生からバザーの提供品の申し出があり、担当者は喜んで受け取りにゆきます。そして母校と卒業生同志のつながりを築くことができます。それぞれの学園生活の話に花が咲きます。そして松山東支部の一員になってくださると喜びは倍になるのです。

連絡先：090-9457-8777

❁ 宇和島支部

支部長 濱田チヅル（短大保育18回生）
南予の同窓生もどんどん増えております。若い力を借りながら支部会を開催したいと思っておりますが、もう少し時間がかかりそうです。

私ごとですが、保母（保育士）になりたくて短大に入学しました。たくさんの先生・友だち・仲間に支えられ卒業し、現所在地宇和島で保育士をしています。30数年勤務しておりますが、子どもたちは常に元気です。コロナなんてなんのその…私は、その元気な子どもたちのパワーを全身で感じながら、日々全力で関わっています。大変なこともあります前向きに考えるようにしています。「保育士不足」と言われている今、もちろん楽しいことばかりではありませんが、未来につながる職業だと思っています。

支部会開催時には、たくさんの同窓生と触れ合い意見交換したいと思います。よろしく願います。

連絡先：0895-24-4777

松山東雲中学・高等学校より

◆新しい夏服を導入

「夏服が暑い」という生徒からの要望を受け、近年の猛暑とコロナ禍に対応すべく新しい夏服導入の検討が、昨年度、急ピッチで進みました。8月には、生徒会・保護者・教職員で構成した制服検討委員会が、候補となる制服を数点選定し、2学期に教職員・生徒による投票を実施しました。その結果、多数の支持を受け、得票が拮抗した制服二つが採択され、新入生は2種類、在校生は3種類の制服を選ぶことができるようになり、生徒は自分に合った制服を着て毎日登校しています。結果的に、かつての東雲らしく「選べる制服」となり、県内唯一のワンピースも、校風を反映した清楚な制服となりました。



◆部活動報告

【中学バレーボール部】

中学バレーボール部は、3年生9名、2年生6名、1年生8名の計23名で活動しています。全国優勝という高い目標を掲げ、毎日一生懸命練習に励んでいます。また、『和顔愛語を心にとめて』をモットーに、常に思いやりと感謝の気持ちを忘れず、素直な気持ちで日々努力を重ねています。指導に関しては、バレーボールの技術を磨くだけでなく、バレーボールを通じて、人間力の向上を目指し、人として成長できるような指導を心掛けています。

コロナウイルス拡大で、大会が次々と中止となっていますが、一昨年度は全国大会に出場し、昨年度は四国・全国大会が中止となったものの、県大会で優勝することができ、今年度も県大会優勝を果たしています。今年度は、悲願の全国優勝を目指し、日々活動しています。



【高校バレーボール部】

高校バレーボール部は、3年生11名、2年生12名、1年生6名の計29名で活動しています。全国大会ベスト4に入るため、日頃から仲間と切磋琢磨しながら、全員バレーで練習に励んでいます。また、バレーボールが出来る環境に感謝し、拾って繋ぐ伝統あるバレーを目指しています。指導に関しては、技術面だけではなく、バレーボールの一環として豊かな人間性を確立し、人として社会に貢献できるような指導を心にとめています。

昨年度は春の高校バレーに出場したものの全国の高い壁を痛感しました。今年度はインターハイの通過点となる県総体で優勝し、全国の舞台で目標を達成することができるよう日々精進していきます。



【吹奏楽部】

昨年度唯一の大会となったアンサンブルコンテストでは、地区予選で4団体が金賞を受賞、ホルン三重奏は県大会に進み、銀賞を受賞しました。3月には、1年越しの定期演奏会を松山市民会館で開催することができました。定期演奏会の様子は、愛媛CATVでもご覧いただけます。演奏機会は少なかったですが、皆が集まって合奏できること、演奏を楽しむにしてくださる方々がいることに、今まで以上の喜びと感謝を感じることでした1年となりました。一刻も早く、安心して音楽が楽しめる状況になることを、心から願っています。

東京2020オリンピック聖火リレーイベント（吹奏楽部）



4月21日には松山でコロナの感染者が急増し「聖火リレー到着式」が中止になり、代替のセレモニーを本校でしていただきました。またいつか演奏を聴いていただきたいと思っています。

【アーチェリー部】

同窓会の方には、いつも本当にお世話になります。昨年1月、皆様のご支援のおかげでクラウドファンディングによるアメリカ合宿を実施させていただきました。この合宿で学んだKSLというシューティング技術は、本当に素晴らしく、現在日本の主流である韓国式とは全く違うものでした。何が違うかといいますと、経験論からの技術ではなく、スポーツ科学・心理学を駆使した方法だということです。

この技術を身につけつつある東雲の生徒たちは、着実に試合で結果を出しております。まず、今年8月にポーランドで行われる「世界ユース選手権大会」に高校2年生の鈴木さくらが日本代表として参加いたします。世界大会に出場することは、東雲アーチェリー部として初めてです。さらに、先日行われました「全国高等学校選抜大会」では、4名の選手が出場しました。この大会は各県1名の枠で各県代表として出場できますが、全国の中で上位の選手はシードで出場ができます。一つの学校で4名出場しているのは東雲のみでした。結果は鈴木さくらが、4位に入賞することができました。また愛媛県総体では上位8位までのすべてを東雲の生徒で独占しております。

インターハイ、国体とこれから続きますが、皆さんの応援を力に変え、母校の誇りと言っていただけるよう頑張ります。

この紙面をおかりし、皆様へお礼を伝えさせていたいただきました。本当にありがとうございます。



世界ユース選手権大会最終選考会にて



全国高校選抜大会にて

松山東雲女子大学・短期大学より

◆『しののめ人財バンク』

卒業生や旧教職員に対し、再就職や学び直しなど生涯を通じた活躍支援を行うとともに、卒業生や旧教職員の知的・人的資源を活かして、本学および地域社会の様々な活動に寄与することを目的として『しののめ人財バンク』を設置しています。皆様の登録をお待ちしています。詳細はホームページをご覧ください。

(お問い合わせ：キャリア支援課)

◆2021年度後期開講『しののめプラス』(社会人講座)

本学の教育機能を広く地域社会に開放する生涯学習のための講座を開講しています。後期募集は、9月中旬頃メ-cut予定。詳細はホームページをご覧ください。

(お問い合わせ：しののめプラス(社会人講座)係)

◆「絵本の魅力を伝える専門家」誕生!

2021年度秋、松山東雲女子大学から「認定絵本士」35名が誕生します。認定絵本士とは、絵本に関する知識、技能、感性を身につけ、絵本の魅力を発信し、地域の読書活動を推進する絵本の専門資格です。松山東雲女子大学は、全国に先駆けて、2020年度より認定絵本士養成講座「メディアとしての絵本Ⅰ・Ⅱ」がスタートしました。

東雲から認定絵本士として、地域に絵本の魅力と可能性を伝え輪が広がっていくことにご期待ください!

◆社会人オープンキャンパスのお知らせ

現在20代から60代の社会人の方が、資格取得やキャリアアップをめざして正規学生として学んでいます。

社会人入学者には、学納金の特別支援制度を用意しています。また、松山東雲学園同窓生の方には入学後、入学金相当を奨励金として授与します。社会人入学について詳しく知りたい方はぜひオープンキャンパスにお越しください(予約制)お待ちしております。

(お問い合わせ・予約：入試課 0120-874044)

【社会人対象 オープンキャンパス日程】

- ・10月1日(金) 18:30~19:30
- ・1月28日(金) 18:30~19:30

※ご都合の合わない方は個別対応も致します。



社会人入学について

◆東雲祭・しののめホームカミングデー

今年の東雲祭は11月13日(土)・14日(日)です。しののめホームカミングデーも東雲祭において開催予定です。なお、新型コロナウイルス感染拡大状況により、日程等が変更となる場合もございます。詳細が決まり次第、HPにアップいたしますので、ご覧ください。

◆松山東雲短期大学 食物栄養学科活動報告

『愛媛県民を愛顔(えがお)に!しののめベジガールの活躍』

亀岡 恵子・田中 洋子

2016年、愛媛県は、若い世代の朝食欠食率が高いこと、野菜摂取量が少ないことから、食生活・栄養改善の取り組み「愛顔(えがお)のE-IYO(えいよう)プロジェクト」を立ち上げ、本学に連携依頼がありました。同年、ベジガールの前身である食物栄養学科学生が「朝食レシピ」を考案、県作成の「朝食をとろう!野菜de朝食」パンフレットに掲載されました。

2017年、こうした県民の野菜不足を解消したいと食物栄養学科2年亀岡・田中ゼミの学生で結成したのが、学生のお母様手作りの野菜帽がトレードマークの「しののめベジガール」です。以来先輩方の想いを繋いで4年、「朝食を食べよう、野菜を食べよう」のキャッチフレーズのもと、行政や企業と連携し、初代はスムージーと野菜スープ、2代目はベジスイーツ、3代目は麦麦ごはんを考案し、毎年、様々な啓発活動に取り組んできました。4代目は、2020年コロナ禍のためイベント活動は鈍りましたが、厚生労働省が栄養バランスのとれた食事として認証しているスマートミールの基準に合わせたレシピを考案し、2021年にはレシピ本を発行します。

そして、歴代しののめベジガールが延べ100名に達した2020年、これまでの活動が、地域のポテンシャルを引き上げ、活性化、所得向上に取り組み、他の地域の模範

となるとして、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(コミュニティ部門)に144件の応募の中から選定されました。また、テレビや新聞等メディアにもたくさん取り上げていただき、露出も計34件に上ります。

学生達は、ベジガールの活動を通して、「大変なことでもたくさんあるけど、自分たちの活動が評価されることはうれしい。」「これからも社会を元気にする存在として活動し続け、それを後輩に引継ぎ、もっと愛媛を元気にしていきたい。」「卒業後は、栄養士という専門性を生かし、言動の一つ一つに責任を持って社会を元気にする存在になれるよう、さらに学び、実践し、信頼を価値に変えていきたい。」と意気込みます。

自分たちの活動が社会から注目されることで、学びに磨きがかかり、反響は生きた学びに繋がります。同窓会の皆さまには、これを機に、あるいは引き続き、しののめベジガールの活動にお声をかけていただき、また叱咤激励をお願いします。2021年、5代目も頑張ります。インスタグラムのフォロー、いいね!で応援してください。



インスタQRコード



2020年12月15日「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」授与式

《塩ゼミの活動紹介》

講師 中島 悦子

2019年度より卒業研究において前任者の大塚暢幸先生が、伯方塩業(株)様と「塩ゼミ」を開講しました。「伯方の塩」を使った商品開発や加工品の評価に取り組んでいます。ゼミ活動では、塩の基礎知識について修得し、その活用方法を学んでいます。我々の食生活にとっても身近な塩ですが、意外に知らないことが多いものです。2020年度は、以下の5つの活動に取り組みました。(1)オンラインショップでよく売れている塩商品の味の比較、(2)1で調査した塩商品を使用して、塩こうじを発酵したときの違い、(3)塩アイスの開発、(4)ハーブ・ソルト(塩調味料)の開発、(5)塩生キャラメル大福の開発です。

今回は(5)の塩生キャラメル大福の開発について紹介させていただきます。この開発には、大塚菜未さん、宇都宮志保さん(高校70回生)が中心となり、「和の塩大福ではなく、若者が食べたいと思う洋風の大福を作り、実店舗で販売してもらう」を目標に取り組みました。店舗での販売を目指すため、亀井製菓(株)様との協力の下、共同開発に取り組みました。洋風の大福とするため、塩生キャラメルとカスタードクリームを大福の中に入れることにしましたが、塩の配合が多すぎたり、大福の皮をうまく包めなかったりして、失敗がありました。塩には甘さを引き立てる効果がありますが、その配合はとても微妙で難しかったです。最後は亀井製菓(株)・畑寺店様のご協力でレシピを決め、店舗で販売していただきました。商品の販売は期間限定(2021年1月20日~3月31日)でしたが大変好評で、食物栄養学科の2年生へも、卒業記念や成人祝いとして配付しました。これも、ご支援を頂いた関係者の皆様のおかげと感謝しています。今後もゼミ生と一緒に「伯方の塩」を使った新たな商品開発を進めていきます。

「塩」は人間の生命活動に必要な不可欠な物質の1つです。その一方で、摂取量が多すぎても、少なすぎても健康を害するものです。このゼミ活動を通じて、適切な塩の利用方法を学び、卒業生が栄養士として地域の食と健康に貢献してもらいたいと考えています。





西村拓先生の思い出

垂水 喜子 (旧姓 二神) (高校4回生)

「ほんぼん」こと西村拓先生は、京都大学在学中に戦争に駆り出され、終戦後京都大学に復学・卒業され、私達が中学に入学した1947年、東雲の教師として初めて中学1年月組を担当されました。父上は東雲4代目校長 西村邦雄先生、讃美歌「山路越えて」の作詞者 西村清雄先生は伯父様に当たられます。

1952年私が高校3年生の時のことです。私達Aホーム（青野保先生）の教室のすぐ前に理科の教員室があり、そこには人体骨格の模型が立っていました。私達は、その『ガイコツ』に永井先生のマフラーを巻き、帽子を被せ、手に手提げ袋を持たせました。実によくでき、みんな感激でした。放課後西村先生に呼ばれて「人体模型は、高価なものなんだから…」とお叱りを受けましたが、「見事な出来栄えだったなあ」と笑っておられました。過ぎたいたずらでしたが、今も思い出しては笑っています。それから思い出されるのが皿ヶ嶺や石鎚登山によく連れて行ってもらったことです。一度病人が出たこともありました。毎年続きました。

1952年6月25日、それは突然の出来事でした。社会科担当

の秋山先生が、お家の事情で松山を離れ、郷里に帰られることになりました。朝礼の時にお別れの式が行われ、皆は驚きと悲しみにざわめきました。放課後「突然ですが秋山先生の洗礼式を行います」とのアナウンス、松山で受洗したいとの秋山先生の願いが、神様に届いたのでした。そして私達も先生の洗礼式に参列させていただき、感涙の内に式は進みました。最後に西村先生が秋山先生と握手をなさり、お二方は手を握ったまま声を出して泣いておられました。一つの魂の救われることがこんなにも喜ばしいことと知り、私にとっても実に意義深い日になりました。

2020年1月22日、西村先生は百歳を目の前にして天国に召されました。最後のお別れの時、皆で讃美歌「神ともにいまして」の合唱でお送りしました。霊柩車の窓から、節子夫人が先生の遺影を私達の方に向けてくださいました。写真の先生がお別れの手を振っておられるように思い、私も思わず手を振りました。

省みて私達は親しみをもって、西村先生を「ボンちゃん」とか「ほんぼん」とか「ぼん先生」とか呼ばせていただいております。その若き日に私達は学校で神の教えを学び、人としての生き方を教えられ、本当に楽しい学生生活を過ごすことができたこと、感謝でいっぱいです。

どうか、松山東雲学園のこと、同窓生一人一人のこと、いつまでも見守り導いてくださいますよう祈ります。



今号でNo.79号となる「雪びら」ですが、過去に「松山東雲名所めぐり」と題したシリーズ記事があり、それを見つけた会員によってデジタル化されました。その中から今回、松山東雲中学校・高等学校の校門についてご紹介いたします。

松山東雲名所めぐり (其の一)

ゲイト
ハウス
樓 門

戦災を免れた本校唯一の建物



一番町を北に一丁、左に竹林を見つめて西へ注目すると、寺院の燈籠ならざる前門を控えて堂々たる城門がある。真新しい板に墨の色も鮮やかな字で「松山東雲カレッジ」と横にかけ、門柱には夫々高校、中学の校名をかけてある。カレッジこそ昨年の設立ではあるが、松山東雲高校がその前身として誕生した松山女学校は六十八年の齢を誇っている。その歴史には及ばないけれども、本校が現在地へ移ってから先ず最初の建設計画の一つとして昭和二年当時の校長ホイテ先生の設計に成り、戦災で本校が灰に帰したとき唯一つ類焼をまぬがれたのが、此の樓門である。なるほどそれを証據付けるかのように屋根のいらかには雑草が生えているから、樓門は既に学室的建築物として申請してもよい。「樓門」と云えば戦国時代の遺物か、仏教的色彩の強いものを連想しやすいけれども、キリスト教の人間教育を標榜する東雲学園の玄関であろうとは、ちょっと想像もつくまい。それもそのはず、異郷の遊客が松山城へ登ろうとして最初にまちがえるのが此所なのだから。「城山の登り口は北へ尚一〇〇米ですよ」など、云うと、けげんそうな顔をしてもう一度仰ぎ見る此の樓門。それが又案外松山人にも知られていないで、松山城の出城だと得意然として説明するおかたもあれば、牢獄だと云う餓鬼大将もある。

ところがこれに最も近代的？に且つ一見して実体を把握できるような名称を付けられた方は校長先生で曰く「ゲイト・ハウス」と。— (Gate House) —誠に然り。表門であると

同時に教員住宅である。

此の樓門をくぐる人々が、必ず口をあけて好奇の眼を注ぐのは、その内部である。尤もその私生活ではなくて内部構造なのだが、どうしても一言して置かねばなるまい。

入り口を入つて螺旋状に階段を昇ると、部屋が三つあつて、一番南側が炊事場、真中と北側は約八畳になつていて、なにもあるし材も極めて良質で落ち着いた部屋である。その上想像にも及ばない、水道、ガスの設備があり水洗便所まで付いているのだから、最も古式な建物で最も文化的な生活をしていることになる。御住人は本校の西村先生の家族四人と末光先生の家庭二人。

しかし住人にもその歴史があつて、何でも始めは魚木、青野の二先生も家主になられたことがあり、一時は宿直室として男子の先生が中央の窓から、一々通行人を見下ろしていたこともあるらしい。「おい!! 何の用事か」など、問われると「はい!! 私は〇〇で参りました」と云う調子。戦災で焼け出された町の人々が狭い室内や屋根の下に雑魚寝をしてニギリメシを食つた時代には、寄宿舎生も、此処を根城となされた。

草の戸も住み代わる代ぞ雛の家

芭蕉の句を引くと勿体ないが、住み代つて今では西村先生のお嬢さんのために雛を飾る時代が来た。登校、下校のたびに聞く赤ん坊の声には、時代がどうあろうともそれを超越した平和の響きがないだろうか。やはり女子の学校である。

登城の家老を偲べおさげ髪

(原文ママ)

「雪びら」第8号 昭和28年6月18日発行から

「雪びら」には「其の一」から「其の八」まで掲載され、その期間は1953年6月から1954年10月までであった。挿絵は青野陽子教諭(美術)。

同窓会事業報告・決算報告書

自 2020年4月1日
至 2021年3月31日

2020年度事業報告

月	日	曜	事業実施概要	備考
4	11	土	会計監査	
5	16	土	幹事会（中止 書面議決）	
6	1	月	東京支部会（中止）	
	20	土	総会（中止 書面議決）	
9	1	火	「雪びら」発行	第78号
10	16	金	関西支部会（中止）	
11	3	火	お山のバザー（中止）	
	7	土	東雲祭（中止）	
12	5	土	クリスマスの集い（中止）	
1	10	日	松山東雲中学・高等学校卒業生成人式（中止）	
	12	火	雪びら奨学金授与式	女子大・短大
3	1	月	卒業式・記念品贈呈	高校
	12	金	卒業式・記念品贈呈	女子大・短大
	13	土	新卒新幹事交流会（中止）	
			松山東支部会（中止）	
			研修バス旅行（中止）	



役員会：毎月1回土曜日開催（5月は休会） バザー委員会：9月5日実施（バザーの中止を確認）
クリスマスの集い準備会：中止

2020年度収支決算報告書

収 入		支 出	
会 費	4,007,250	学 園 寄 付 金	510,000
事 業 収 入	210,000	助 成 金 ・ 奨 学 金	500,000
受 取 利 息	39	基 金	0
維持会費・寄付金収入	876,000	記 念 品 費	205,064
雑 収 入	19,890	慶 弔 費	0
前年度からの繰越金	4,456,271	会 議 費	96,761
		事 業 費	50,000
		通 信 運 搬 費	2,000,303
		印 刷 製 本 費	1,216,021
		名 簿 管 理 費	337,700
		旅 費 交 通 費	0
		事 務 費	200,124
		備 品 費	0
		予 備 費	0
		次年度へ繰越金	4,453,477
合 計	9,569,450	合 計	9,569,450

2021年度総会書面議決結果

- 1 提出者
書面表決書送付 357人中 178人提出
- 2 議事
 - 第1号議案 2020年度事業報告
賛成178、反対0、無効0
 - 第2号議案 2020年度決算・監査報告・財産目録
賛成178、反対0、無効0
 - 第3号議案 2021年度事業計画（案）
賛成178、反対0、無効0
 - 第4号議案 2021年度予算（案）
賛成178、反対0、無効0
- 3 結果
すべての議案について、提出者の過半数の賛成をもって可決されました。



奨学金授与式

日時：2021年1月12日(火) 9：00～チャペルアワーにて
場所：チャペル（桑原キャンパス）

今年も同窓会から雪びら奨学金を大学、短大の優秀者10名に贈りました。式の後、会長より同窓会の活動について紹介しました。



新卒幹事紹介

- | | |
|----------------|----------------|
| ■稲田 明花 高校72回 | ■森田佳那子 短大食栄33回 |
| ■河野優羽華 高校72回 | ■磯崎みのり 短大保育54回 |
| ■小池 萌絵 高校72回 | ■片岡ひかる 短大保育54回 |
| ■中島杏理沙 高校72回 | ■中村日夏乃 短大現ビ36回 |
| ■麻生 萌亜 高校72回 | ■山本 明来 短大現ビ36回 |
| ■白川 珠菜 高校72回 | ■宮岡 賢子 大学心福12回 |
| ■宇都宮愛美 高校72回 | ■上田 陽子 大学心福12回 |
| ■白方珠実代 高校72回 | ■武田みずほ 大学心子12回 |
| ■山口 夏実 短大食栄33回 | ■中津 七海 大学心子12回 |

同窓会事業案内

各行事については、新型コロナウイルス感染状況により中止または開催日時などの変更が予想されます。詳しくは、ホームページ等でご確認下さいますようお願いいたします。

第90回 お山のバザー

日時：2021年11月3日(水・祝) 10:00~15:00
会場：100周年記念館駐車場・ロープウェー街

【ご協力お願いします】

提供品：衣料品、余剰品、手作り作品など
寄付金：郵便振替01660-1-93707
宛先 松山東雲学園同窓会
※準備及び販売のお手伝いについては同窓会までお問い合わせください。

東雲祭

日時：2021年11月13日(土)・14日(日)
会場：桑原キャンパス

一緒に楽しみませんか

手芸を楽しむ会・月曜日

毎週月曜日 10:00~16:00/100周年記念館2F同窓会室

手芸を楽しむ会・水曜日

毎週水曜日 10:30~15:00/100周年記念館2F同窓会室

讃美歌の集い

毎月第1・3・5金曜日 14:00~15:30/100周年記念館2F会議室

みつばサークル(童謡)

毎月第2水曜日 10:00~12:30/100周年記念館2F会議室

☆同窓会事業へのお問い合わせ、お申し込みはこちらまで

松山東雲学園同窓会
〒790-8541 松山市大街道3丁目2-24
Tel: 089-941-4140 Fax: 089-948-4147
携帯: 090-1003-4140
E-mail: yukibira@shinonome.ac.jp
ホームページ: <https://www.shinonome.ac.jp>

「クリスマスの集い」

日時：2021年12月4日(土) 受付開始10:30~
クリスマス礼拝・祝会 11:00~12:30
会場：桑原キャンパス ☎089-931-6211 (代表)
A-1-1 〒790-8531 松山市桑原3丁目2-1
会費：1,000円 茶菓代(当日お支払いください)
申込〆切：11月19日(金)
※ 申込方法は、下記枠外をご確認ください。



2022年松山東雲学園同窓会総会

日時：2022年6月18日(土) 11:00~

- 第1部 総会
《議題》 2021年度事業報告・決算報告・監査報告
2022年度事業計画・予算案
- 第2部 親睦会など

会場：桑原キャンパス ☎089-931-6211 (代表)
〒790-8531 松山市桑原3丁目2-1
会費：2,000円 食事代(当日お支払いください。但し総会
前々日以降のキャンセルは会費をご負担いただきます)
申込〆切：2022年5月30日(月)
※ 申込方法は、下記枠外をご確認ください。



※ 申込方法

「氏名(旧姓)」「郵便番号、住所」「電話番号」「卒業校と卒業回」
以上の項目を明記の上、左記同窓会宛に郵送またはFAXもしくは
メールにてお申込みください。



掲

示

板

あなたも東雲の仲間の一人です。

ともしび
東雲の灯火を次代につなぐために、
貴女の力と、知恵をおかください。

維持会費 1口 1,000円~ (お一人様何口でも可)



会費の使い道

- 入学助成金 ●雪びら奨学金 ●学園の施設整備補助
 - 明るく、楽しい学園生活のお手伝い ●同窓会活動費用 など
- 応援していただけると幸いです。ありがとうございます。

郵便振替：01660-1-93707

※雪びらの発送後、住所不明で返送された封書、同窓生・ご家族の方々からいただいた電話やメール等の整理を行っていますが、尚不都合がございましたら連絡をしていただきますようお願いいたします。また、困難な状況の中にあっても、維持会費にご協力いただきありがとうございます。今回は振込用紙を同封していますが、便宜のために用意したものです。ご理解くださいますようお願い申し上げます。

女性だけの
工務店



スタッフ募集中

LIFE CONCORD DESIGN 〒791-8079 愛媛県松山市高山町11-2
KURASU TEL 089-951-4500 FAX 089-951-4506
代表 矢野 陽子(短大1991年卒)

事業内容：建築(設計・施工)、不動産売買、インテリアコーディネート

松山東雲学園HPでも「雪びら」はご覧いただけます。
<https://www.shinonome.ac.jp>



編集後記

前号に続きコロナ禍での編集作業となりました。無事発行できたことをご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。振り返って「コロナ禍にあっても有意義な時間を持てた」と思えますよう、共にこの難局を乗り越えてまいりましょう。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

「雪びら」編集委員 宮田・秋元

広告募集「雪びら」に広告を掲載希望の方は同窓会(Tel 089-941-4140)にご連絡ください。